

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立白岳小学校)

- ① 教科等 体育科 ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 「ミッション！ 八木節アクションを表現せよ」
- ④ 本時の目標 グループごとに表したい場面のイメージを広げ、その様子が伝わるように動きを工夫することができるようにする。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全7時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 準備運動をする。 ・ 心と体をほぐす運動 ・ ダンスウォームアップ	・ 心と体をほぐし、楽しい雰囲気をつくるようにする。 ・ 課題につながる動きを取り入れる。	
八木節アクションの動きを、もっと高めたり工夫したりしよう。		
3 課題の追究をする。 ① 学習課題の解決に向けて、本時の活動のポイントになる点を出し合う。	・ 児童の気付きを引き出しながら、動きの高め方のポイントを指導する。 ◇ 動きの大きさ ◇ 動きのはやさ ◇ 空間の使い方 ◇ 友だちとの関わり方	
② グループごとに、動き方や場の使い方を工夫する。 ③ ペアやグループ間での話し合いを通して、互いにアドバイスをし合う。	・ グループごとに、表したい場面のイメージや動きを確認させる。 ・ 実際に動きながら工夫について話し合わせる。 ・ 互いに見合う視点をはっきりさせる。 ・ 学習カードを活用することで、前時と変わったところ、工夫を見付けられるようにする。	【アドバイスし合う場での予想される発言】 「笛を吹く時に、みんなで集まってみたらいいよ。」 「向きを変えたりして変化させて。」
④ アドバイスを生かし、グループ内で話し合いをする。	・ アドバイスやペアグループのよい動きも参考にさせるようにする。	
⑤ 一グループを取り上げ、そのよさを確かめ合う。	・ 運動の幅を広げたり深めたりする視点や方法を学び合わせ、共有できるようにさせる。	・ 一番表したい感じが強まるようグループで工夫をしている。〔運動や健康・安全についての思考・判断〕 (学習カード)
4 本時の活動を振り返る。	・ 学習カードに振り返りを記入させ、次時への意欲を高めるようにさせる。	
5 整理運動をする。	・ 踊る楽しさの余韻を残すことができるようなクールダウンをする。	

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 表したい場面のイメージを広げ、その様子が伝わるように動きを工夫することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- グループ内やグループ間での改善方法を互いに話し合う活動を設定する。
- 自らの動きの変化を実感させたり、改善点を見付けさせたりするために、視点を明確にして、気付きを伝え合うようにさせる。